

## 鹿児島大学医学部保健学科業績目録(2016年1月～12月)

雑誌名	鹿児島大学医学部保健学科紀要
巻	27
号	1
ページ	1-19
発行年	2017-03-31
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10232/00029577">http://hdl.handle.net/10232/00029577</a>

鹿児島大学医学部保健学科

# 業 績 目 録

(2016年1月～12月)



## 業績目録

### 〔看護学専攻〕

#### 〔総合基礎看護学講座〕

##### 【論文著書】

###### (著書)

1. 小西恵美子, 看護実践と倫理, 看護学原論: 看護の本質理解と創造性を育むために (高橋照子 編 南江堂, 東京) p.107-118, 2016
2. 征矢野あや子, 小西恵美子: ウェルネスアプローチ, 老年看護学概論: 「老いを生きる」を支えるには (正木春恵, 真田弘美 編 南江堂, 東京) p. 138-140, 2016

###### (和文論文)

1. 木下天翔, 八代利香: 看護学生が臨床実習で体験する倫理的ジレンマ. 日本看護倫理学会誌, 8 (1): 39-47, 2016
2. 下吹越直子, 八代利香: 介護職ケアマネジャーの訪問看護導入を判断する根拠, 日本職業・災害医学会誌64 (1): 46-53, 2016
3. 田畑千穂子, 八代利香: 無医島に暮らす住民の新しい看護サービスに対するニーズ調査, 第46回日本看護学会論文集, 看護管理: 317-320, 2016
4. 麻原きよみ, 三森寧子, 八尋道子, 小西恵美子, 百瀬由美子, 小野美喜, 安藤広子, 看護研究の倫理審査に関する考察: アメリカ合衆国の事例を踏まえて, 日本看護科学会誌36: 80-84, 2016
5. 園田和子, 武井修治, 松成裕子, 小児幼児をもつ母親の育児ストレスに関する縦断的研究 - 1歳6ヶ月児とその2年後の母親の育児ストレスの変化について, 小児保健研究75 (1) 34 - 39, 2016
6. 松川京子, 松成裕子, 原子力発電所立地県における保健師の放射線に関する知識等の実態調査, 日本放射線看護学会誌4 (1): 1 - 11, 2016
7. 吉永健嗣, 松成裕子, 被ばく医療における看護研究に関する現状と課題, 日本放射線看護学会4 (1): 20 - 29, 2016
8. 渡邊明美, 松成裕子, 寺崎敦子, 鎌田雅子, 家弓丸子, 放射線に関わる職場で看護師の働きたくない理由の分析と今後の課題, 鹿児島大学医学部保健学科紀要26 (1): 107 ~ 113, 2016
9. 園田和子, 松成裕子, 武井修治, 胎児の発育に影響を及ぼす恐れがあると考えられる妊婦の生活スタイルと心理的特性, 小児保健研究75 (1): 34 - 39, 2016

##### 【学会発表】

###### (和文)

1. 大出順, 坂田三允, 田中高政, 足立智孝, 中村充浩, 八代利香, 山田聡子, 文章を書いてみよう! 論文を書いてみよう! 学会誌に投稿してみよう!, 日本看護倫理学会第9回年次大会, 2016年5月 (京都)
2. 山元淳洸, 田畑千穂子, 八代利香, 無医島における介護職者の困難感, 鹿児島農村医学研究会第48回中央研究集会, 2016年8月 (鹿児島)
3. 園田和子, 松成裕子: 就労妊婦における出生時低体重リスク評価尺度の妥当性及び有用性の検討. 第4回日本公衆衛生看護学会学術集会, 2016年1月 (東京)
4. 堀裕子, 松成裕子, 高村昇: 原子力発電所UPZ内の行政職員の放射線知識等に関する実態調査. 第5回日本放射線看護学会学術集会, 2016年9月 (東京)
5. 園田和子, 武井修治, 松成裕子: 保育園児・幼稚園児をもつ母親の妊娠期の生活状況と出生時体重との関係性に関する研究—妊娠期の生活状況と出生時体重の実態 (第2報) —. 第30回鹿児島小児保健学会, 2016年8月 (鹿児島)
6. 浦田秀子, 新川哲子, 吉田浩二, 折田真紀子, 今村圭子, 佐藤良信, 金丸由美子, 田中準一, 永田明, 林田直美, 高村昇, 放射線の健康影響に係る緩急調査事業 「福島県川内村の帰村促進のための取り組み」 成果報告会の実施. 第5回 日本放射線看護学会学術集会, 2016年9月 (東京)

## 業績目録

### 【その他】

#### 1) 論文・報告書

1. 山口さおり, 稲留直子, 八代利香, 新地洋之, 学生海外研修における大学教員の役割と今後の課題, 鹿児島大学医学部保健学科紀要26: 73-81, 2016
2. 寺田香奈里, 相原佳奈子, 黒田侑希, 佐寄里奈, 前田真梨亜, 八代利香, 米国における看護教育とへき地医療を担うナースプラクティショナーの活動, 鹿児島大学医学部保健学科紀要26: 93-97, 2016
3. 中俣直美, 山口さおり, 今村圭子, 楠元裕佳, 松成裕子, 八代利香, 看護基礎共通技術, 基礎看護技術における演習協力体制について, 鹿児島大学医学部保健学科紀要26: 123-130, 2016
4. 今村圭子, 山口さおり, 中俣直美, 楠元裕佳, 松成裕子, 基礎看護技術における学生の能動的学習方法の転換は向けての支援の取り組み, 鹿児島大学医学部保健学科紀要26: 115-121, 2016
5. 山口さおり, 今村圭子, 中俣直美, 楠元裕佳, 松成裕子, 基礎看護領域における看護技術の教育内容の精選, 鹿児島大学医学部保健学科紀要26: 83-92, 2016
6. 八代利香, 島嶼・へき地における医療体制と看護職の防災教育に関する連携構築, 平成27年度国立大学法人運営費交付金特別経費(プロジェクト分) - 地域貢献機能の充実 - 報告書, 35-46, 2016
7. 土橋由美子, 松成裕子: 鹿児島大学地域防災教育研究センター事業における韓国原子力医学院の Radiation Emergency Medicine Training への参加について, 鹿児島大学医学部保健学科紀要26: 99-106, 2016
8. 松川京子, 松成裕子, 福德康雄, 原子力発電所立地県における保健師の放射線に関する知識などの実態調査, 公益財団法人放射線影響協会放影協ニュース, 88: 7-11, 2016
9. 園田和子, 松成裕子, 武井修治, 保育園児・幼稚園児をもつ母親の妊娠期の生活状況と出生時体重との関係性に関する研究 - 妊娠期の生活状況と出生時体重の実態 -, 小児保健かごしま29: 48-52, 2016
10. 松成裕子, 緊急被ばく医療の構築強化に関する事業, 平成27年度国立大学法人運営費交付金特別経費(プロジェクト分) 地域貢献機能の充実 「南九州から南西諸島における総合的防災研究の推進と地域防災体制の構築」報告書: 47-61, 2016

### 【講演】

1. 八代利香, 看護倫理. 公益社団法人鹿児島県看護協会 平成27年度研修会, 2016年1月(鹿児島)
2. 八代利香, 臨床倫理. 済生会川内病院 看護部教育委員会研修会, 2016年1月(薩摩川内)
3. 中俣直美, 鹿児島県臨床指導者研修会 講義「実習指導の原理」, 鹿児島県看護協会, (全15時間) 2016年1月(鹿児島)
4. 中俣直美, 看護研究の進め方・まとめ方(グループ指導), 鹿児島市医師会病院看護部研修, 全12回2016年1~12月(鹿児島)
5. 中俣直美, 喀痰吸引概説, 健康状態の把握, 経管栄養概説, 喀痰吸引・経管栄養の実習, 特定認証交付のための喀痰吸引等講習会, 日本 ALS 協会鹿児島県支部, 2016年1月(鹿児島)
6. 中俣直美, 喀痰吸引・経管栄養の実習, 家族以外の介護者のための喀痰吸引等講習会, 日本 ALS 協会鹿児島県支部, 2016年2月, 4月, 6月, 10月(鹿児島)
7. 松成裕子, 平成27年度鹿児島医療センター看護研究発表会の総評. 平成27年度鹿児島医療センター看護研究委員会研修会, 2016年2月(鹿児島)
8. 八代利香, 臨床現場における倫理的課題. 鹿児島市立病院 平成27年度鹿児島市立病院倫理研修, 2016年3月(鹿児島)
9. 中俣直美, 特定者医療行為研修指導看護師講習会, 日本 ALS 協会鹿児島県支部, 2016年5月(鹿児島)
10. 中俣直美, 喀痰吸引概説, 健康状態の把握, 経管栄養概説, 喀痰吸引・経管栄養の実習, 特定認証交付のための喀痰吸引等講習会, 日本 ALS 協会鹿児島県支部, 2016年6月(鹿児島)
11. 中俣直美, 山口さおり, 今村圭子, 楠元裕佳, 喀痰吸引・経管栄養の実習. 特定の者対象のための吸引・胃瘻講習会, 日本 ALS 協会鹿児島県支部, 2016年6月(鹿児島)
12. 山口さおり: 看護過程概論, 平成28年度看護職対象研修「看護実践のプロセス」, 鹿児島大学医学部・歯学部附属病院看護部, 2016年6月(鹿児島)
13. 八代利香, 看護実践における倫理. 公益社団法人沖縄県看護協会 平成28年度認定看護管理者ファーストレベル研修, 2016年7月(沖縄)
14. 中俣直美, 喀痰吸引・経管栄養の実習, 家族以外の介護者のための喀痰吸引等講習会, 日本 ALS 協会鹿児島県支部, 2016年7月(鹿屋市)
15. 中俣直美, 喀痰吸引・経管栄養の実習, 家族以外の介護者のための喀痰吸引等講習会, 日本 ALS 協会鹿児島県支部, 2016年7

## 業績目録

月(西之表市)

16. 中俣直美, 看護研究(統計), 鹿児島市医師会病院看護部研修, 2016年7月(鹿児島)
  17. 中俣直美, 平成28年度看護職員の能力向上対策研修会(特定分野における実習指導者講習会) 講義「実習指導の原理」, 鹿児島県看護協会, 2016年7月(鹿児島)
  18. 楠元裕佳, 指導過程の展開能力を高める. 特定分野ジェネラリスト(Gナース)育成研修, 鹿児島大学医学部歯学部附属病院, 鹿児島市, 2016年7月(鹿児島)
  19. 中俣直美, 喀痰吸引概説, 特別支援学校における特定認証交付のための喀痰吸引等講習会, 鹿児島県教育庁義務教育課特別支援教育, 2016年8月(鹿児島)
  20. 中俣直美, 喀痰吸引・経管栄養の実習, 特別支援学校における特定認証交付のための喀痰吸引等講習会, 鹿児島県教育庁義務教育課特別支援教育, 2016年8月(鹿児島)
  21. 八代利香, 看護実践における倫理. 公益社団法人鹿児島県看護協会 平成28年度認定看護管理者ファーストレベル教育課程, 2016年8月(鹿児島)
  22. 松成裕子, 放射線災害部門における医学部保健学科のこれまでの取り組み. 平成28年度第12回鹿児島大学防災セミナー, 2016年8月(鹿児島)
  23. 西沢義子, 太田勝正, 野戸結花, 浦田秀子, 新川哲子, 吉田浩二, 松成裕子, 井瀧千恵子, 北島麻衣子(放射線看護グループ), 第5回日本放射線看護学会学術集会, 特別企画「放射線看護分野の専門看護師に求められるもの」, 2016年8月(広島)
  24. 松成裕子, 第5回日本放射線看護学会学術集会 座長, 2016年9月(東京)
  25. 中俣直美, 喀痰吸引概説, 健康状態の把握, 経管栄養概説, 喀痰吸引・経管栄養の実習, 特定認証交付のための喀痰吸引等講習会, 日本ALS協会鹿児島県支部, 2016年9月(薩摩川内市)
  26. 中俣直美, 喀痰吸引・経管栄養の実習, 家族以外の介護者のための喀痰吸引等講習会, 日本ALS協会鹿児島県支部, 全3回 2016年9月(奄美市)
  27. 中俣直美, ALS療養者の現況, 公開講座「在宅ALS(筋萎縮性側索硬化症)療養者の支援」, 2016年9月(鹿児島)
  28. 中俣直美, 山口さおり, 持留里奈, 白橋有人, 加覧妙子, 岸良達也, 才田隆一, 伊吹幸里子, 手塚尚美, 在宅人工呼吸器装着患者のケアに必要な看護技術, 公開講座「在宅ALS(筋萎縮性側索硬化症)療養者の支援」, 2016年9月(鹿児島)
  29. 八代利香, 倫理的感受性を高めるために. 鹿児島市立病院 平成28年度看護部全体研修「看護倫理」, 2016年11月(鹿児島)
  30. 八代利香, 看護論 . 公益社団法人鹿児島県看護協会 平成28年度実習指導者講習会, 2016年11月(鹿児島)
  31. 中俣直美, 喀痰吸引・経管栄養の実習, 家族以外の介護者のための喀痰吸引等講習会, 日本ALS協会鹿児島県支部, 2016年11月(薩摩川内市)
  32. 中俣直美, 喀痰吸引概説, 健康状態の把握, 経管栄養概説, 喀痰吸引・経管栄養の実習, 特定認証交付のための喀痰吸引等講習会, 日本ALS協会鹿児島県支部, 2016年12月(西之表市)
- (その他)
- ・八代利香, 松成裕子, 中俣直美, 山口さおり, 今村圭子, 楠元裕佳, 吉留厚子, 井上尚美, 稲留直子, 森隆子: 第4回かごしま国際看護フォーラム実行委員, 2016年2月(鹿児島)

### 〔臨床看護学講座〕

#### 【論文著書】

1. 清水佐智子: 見てわかる看護記録, 第3版改定, 日総研出版, 東京, 2016
2. 清水佐智子, 終末期患者を受け持つ際の実習指導の工夫, *がん看護*21(4): 451-454,2016
3. 清水佐智子, 死をどう教えるか~死生観をはぐくむ~, *がん看護*21(5): 543-546,2016
4. 清水佐智子, 喪失体験エクササイズ Q&A, *がん看護* 21(6): 635-638,2016
5. Fukiko Mikan, Makoto Wada, Michiko Yamada, Ayaka Takahashi, Hideki Onishi, Mayumi Ishida, Kazuki Sato, Sachiko Shimizu, Motohiro Matoba, Mitsunori Miyashita, The Association Between Pain and Quality of Life for Patients With Cancer in an Outpatient Clinic, an Inpatient Oncology Ward, and Inpatient Palliative Care Units. *American Journal of Hospice & Palliative Medicine*33 (8), 782-790, 2016
6. 李慧瑛, 西本大策, 緒方重光, 峰和治, 下高原理恵, クリティカルシンキング力の変化 - 領域別実習の前後における比較 -, 鹿児島大学医学部保健学科紀要26(1): 21-33,2016

## 業績目録

7. 西本大策, 李慧瑛, 緒方重光, 下高原理恵, 峰和治, 新橋澄子, 深田あきみ, テキストマイニングによる成長報告書の分析, 鹿児島大学医学部保健学科紀要26(1) : 41-49,2016
8. Kazuharu Mine, Rie Shimotakahara, Hyeyong Lee, Daisaku Nishimoto, Shigemitsu Ogata, Dorsal origin of the cutaneus trunci muscle in the rat, with special reference to the tail attachment., Bulletin of the School of Health sciences, faculty of medicine kagoshima university, 26(1) : 9-12,2016
9. 久松美佐子, 荒井春生, 植田麻実, 前田則子, がんを合併した統合失調症患者を看取る精神科看護師の緩和ケアを促進させる要因, 死の臨床39(1):153-158,2016

### 【学会発表】

1. Yunoue S, Kisanuki A, Takumi T, Kataoka T, Mizukami N, Horizoe Y, Chaen H, Ueya N, Takasaki K, Yuasa T, Minagoe S, Ohishi M. Left atrial global longitudinal strain is useful for predicting pulmonary capillary wedge pressure in patients with heart disease. ESC (European Society of Cardiology) Congress 2016, 2016年8月 (Rome, Italy)
2. Chaen H, Yuasa T, Horizoe Y, Ueya N, Miyana S, Kubota K, Mizukami N, Takasaki K, Miyata M, Kisanuki A, Ohishi M. The chronic effect of balloon pulmonary angioplasty on right ventricular function in patients with chronic thromboembolic pulmonary hypertension. 第80回日本循環器学会・学術集会, 2016年3月(宮城)
3. Yuasa T, Horizoe Y, Chaen H, Takasaki K, Mizukami N, Kisanuki A, Higuchi K, Miyata M, Ohishi M. Fabry Disease. 日本超音波医学会第89回学術集会, 2016年5月(京都)
4. 堀添善尚, 高崎州亜, 茶園秀人, 水上尚子, 湯浅敏典, 宮田昌明, 井本浩, 木佐貴彰, 大石充, 大動脈弁置換術後に形成されたmitral-aortic intervalvular fibrosaの仮性瘤を3Dエコーで評価しえた1例, 第64回日本心臓病学会学術集会, 2016年9月(東京)
5. 堀添善尚, 高崎州亜, 茶園秀人, 植屋奈美, 窪田佳代子, 水上尚子, 湯浅敏典, 宮田昌明, 木佐貴彰, 大石充, 重症大動脈弁狭窄症に対する経皮の大動脈弁形成術の急性効果の検討, 第26回日本老年医学会九州地方会, 2016年3月(鹿児島)
6. 清水佐智子, 長寿県鹿児島における ELNEC-J の現状と課題, 九州緩和ケア研究会第1回学術集会, 2016年2月 (熊本)
7. 久松美佐子, 荒井春生, 植田麻実. がんを合併した統合失調症患者を看取る過程で行った身体的ケアと看護診断の活用状況 - A県内単科精神科病院8施設を対象として - . 第21回日本緩和医療学会学術大会, 京都, 2016年6月 (京都)
8. 荒井春生, 植田麻実, 久松美佐子, 渡辺俊之, がんを合併した統合失調症患者の在宅緩和ケアに取り組む訪問看護師の現状, 第21回日本緩和医療学会学術大会, 京都, 2016年6月 (京都)
9. 久松美佐子, 荒井春生, 延命目的抗がん剤治療を受けるがん患者の配偶者の予期悲嘆の特徴, 第40回死の臨床研究会年次大会, 2016年9月 (札幌)
10. 荒井春生, 久松美佐子, がんを合併した統合失調症患者の訪問看護の現状, 第40回死の臨床研究会年次大会, 2016年9月 (札幌)
11. 久松美佐子, 堤由美子, 福崎伊豆美, 抗がん剤治療を受けたがん患者の配偶者遺族の死別前から死別後の悲嘆体験, 第36回日本看護科学学会学術集会, 2016年12月 (東京)
12. 有村優子, 堤由美子, 看護学校教員が職業継続において直面する困難感の分析 - 中堅期における役割変化に焦点をあてて, 第36回日本看護科学学会学術集会, 2016年12月 (東京)

### 【講演】

1. 清水佐智子, 平成27年度実習指導者講習会. 実習指導の評価 「歴史から教育を考える, かかわる態度を身に着ける」鹿児島県看護協会, 2016年1月 (鹿児島)
2. 清水佐智子, 出前授業, 命を支える看護師の役割 - 聴くということ -, 鹿児島県立松陽高等学校, 2016年7月 (鹿児島)
3. 清水佐智子, 平成28年度研修会, 看護がみえる看護記録, 福岡県看護協会, 2016年7月 (福岡)
4. 清水佐智子, Module5 エンド・オブ・ライフ・ケアにおける文化への配慮, ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム, 鹿児島大学病院, 2016年7月(鹿児島)
5. 清水佐智子, 出前授業, 命を支える看護師の役割 - 聴くということ -, 鹿児島県立川辺高等学校, 2016年9月 (鹿児島)
6. 清水佐智子, 前滝栄子, Module6 講義とロールプレイ実施時の工夫, ELNEC-J 指導者フォローアップ研修, 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会, 2016年9月 (東京)
7. 清水佐智子, 平成28年度研修, 看護がみえる看護記録, 鹿児島県看護協会, 2016年9月 (鹿児島)
8. 木佐貴彰:鹿児島超音波医学研究会, 第17回実技講習会, 鹿児島県厚生連健康管理センター, 2016.8.7.

## 業績目録

9. 木佐貫彰:平成28年度島嶼・地域ナース育成センター公開事業, 第1回看護に役立つ Point of Care 超音波検査 ~ 下大静脈, 胸腔内水分 (胸水) の評価, 鹿児島大学病院総合臨床研修センター, 2016.8.22.
10. 木佐貫彰:平成28年度島嶼・地域ナース育成センター公開事業, 第2回看護に役立つ Point of Care 超音波検査, 鹿児島大学病院総合臨床研修センター, 2016.9.13.
11. 堤由美子, メンタルヘルスマネジメント, 鹿児島県新人看護職員研修実地指導者研修会, 2016年1月 & 2月 (鹿児島市)
12. 堤由美子, がん患者の心の軌跡-研究成果を臨床に活かすために, 鹿児島がん看護研究会, 2016年1月 (鹿児島市)
13. 堤由美子, 喪失・悲嘆, ELNEC-J in 大隅県民健康プラザ鹿屋医療センター, 2016年3月 (鹿屋市)
14. 堤由美子, 喪失・悲嘆, ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム鹿児島市医師会病院研修会, 2016年4月 (鹿児島市)
15. 堤由美子, ストレスマネジメント, 相良病院新人職員研修会, 2016年4月 (鹿児島市)
16. 堤由美子, 看護研究の基礎 研究の進め方と研究方法, 鹿児島県看護協会スペシャリストの準備教育のための研修会, 2016年6月 (鹿児島市)
17. 堤由美子, 人間関係力を高める研修, 鹿児島大学病院看護部部署ジェネラリストコース研修, 2016年6月 (鹿児島市)
18. 堤由美子, 看護研究の基礎 推測統計の基礎, 鹿児島県看護協会スペシャリストの準備教育のための研修会, 2016年6月 (鹿児島市)
19. 堤由美子, 研究計画の作成の仕方, 日本精神科看護協会鹿児島県支部研修会, 2016年6月 (鹿児島市)
20. 堤由美子, 看護を学ぶ実習において学生指導に携わる人の学生との関係構築に求められるものとは, 看護教育の質の向上研修会, 2016年7月 (鹿児島市)
21. 堤由美子, 看護研究の基礎 倫理的配慮の仕方と研究の発表の仕方, 鹿児島県看護協会スペシャリストの準備教育のための研修会, 2016年7月 (鹿児島市)
22. 堤由美子, 新人看護師のセルフストレスマネジメント, 鹿児島大学病院看護部新人研修, 2016年7月 (鹿児島市)
23. 堤由美子, 看護研究の基礎 研究計画立案の実際, 鹿児島県看護協会スペシャリストの準備教育のための研修会, 2016年7月 (鹿児島市)
24. 堤由美子, 喪失・悲嘆, 鹿児島大学病院看護部主催「在宅医療・ターミナルケア人材育成事業 エンド・オブ・ライフ研修会」, 2016年7月 (鹿児島市)
25. 堤由美子, がん患者の心の軌跡に寄り添うケアを求めて, 鹿児島医療センターエキスパートナース研修会, 2016年7月 (鹿児島市)
26. 堤由美子, 危機的状態の患者・家族の看護, 慈愛会今村病院・分院・谷山病院看護部研修会, 2016年8月 (鹿児島市)
27. 堤由美子, 看護研究における倫理, 鹿児島県看護協会役員会研修会, 2016年8月 (鹿児島市)
28. 堤由美子, 人材育成の基礎知識, 日本看護協会鹿児島県支部ファーストレベル研修会, 2016年9月 (鹿児島市)
29. 堤由美子, ALS 患者の障害受容と患者家族の精神ケア, 鹿児島大学医学部保健学科公開講座, 2016年9月 (鹿児島市)
30. 堤由美子, 心の病いと看護, 社会福祉法人鹿児島いのちの電話公開講座, 2016年9月 (鹿児島市)
31. 堤由美子, 看護研究のまとめ方, 日本精神看護技術協会鹿児島県支部研修会, 2016年11月 (鹿児島市)
32. 堤由美子, 喪失・悲嘆, ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム in 南薩, 2016年11月 (南さつま市)
33. 堤由美子, 看護論 対人関係理論, 鹿児島県実習指導者講習会, 2016年12月 (鹿児島市)
34. 堤由美子, 教育課程 (精神看護学), 鹿児島県実習指導者講習会, 2016年12月 (鹿児島市)

### 〔地域看護・看護情報学講座〕

#### 【論文著書】

1. Miki Marutani, Noriko Yamamoto-Mitani, Shimpei Kodama, Public Health Nurses' Activities for Suicide Prevention in Japan. Public Health Nurs, 33(4): 325-34, 2016
2. 丸谷美紀, 岡田由美子, 長谷川卓志, 自殺対策における保健師のNPO等支援団体との協働方法. 日本公衆衛生雑誌, 63(1): 26-35, 2016
3. 丸谷美紀, 佐藤紀子, 大澤真奈美, 宮崎美砂子, 雨宮有子, 細谷紀子: [‘住民の価値観・生活・つながり’を大切にする保健指導方法ABC] 研修受講者の文化的能力の発展. 文化看護学会誌, 8(1): 2-12, 2016



## 業績目録

### 【学会発表】

1. 大澤真奈美, 坪井りえ, 塩ノ谷朱美, 鈴木美雪, 齋藤基, 丸谷美紀, 嶋澤順子, 乳幼児虐待予防に向けて乳幼児健診時に活用するアセスメント項目に関する文献検討. 第74回日本公衆衛生学会総会, 2015年11月6日 (長崎)
2. Miyuki Ishibashi, Yuko Amamiya, Ryuko Ito, Kieko Higuchi, Miki Marutani, How do discharge coordination nurses (DCNs) devise their own discharge coordination systems? 19回EAFONS, 2016年3月14日 (千葉)
3. Yuko Amamiya, Noriko Sato, Noriko Hosoya, Shima Ishikawa, Miki Marutani, Saori Miyazawa, Principles and behavioral guidelines for public health nursing activities in Japan that facilitate intrinsic motivation. 19回EAFONS, 2016年3月14日 (千葉)
4. 丸谷美紀, 文化的視点をもった研究について. 文化看護学会第8回学術集会, 2016年5月25日 (千葉)
5. Manami Osawa, Miyuki Suzuki, Akemi Shionoya, Rie Tuboi, Motoi Saito, Junko Shimasawa, Miki Marutani, Nursing interventions to prevent infant abuse: a review of the Literature. The 3rd KOREA-JAPAN Joint Conference on Community Health Nursing. July 2016 (Busan, South Korea)
6. 丸谷美紀, 稲留直子, 森隆子, 兒玉慎平, 米増直美, 離島の火山噴火災害における保健所保健師と町保健師の協働方法. 75回日本公衆衛生学会総会, 2016年10月28日 (大阪)
7. 宮崎美砂子, 奥田博子, 春山早苗, 上林美保子, 安齋由貴子, 高瀬佳苗, 丸谷美紀, 金谷泰宏, 井口紗織, 大規模災害時の地域保健活動拠点における支援人材活用等のマネジメント評価指標の検討. 75回日本公衆衛生学会総会, 2016年10月26日 (大阪)
8. 森隆子, 小規模島嶼における看護実践モデルの構築 - 島嶼に生きる看護職を取り巻く空間構造. 2016年次日本島嶼学会大崎上島大会, 2016.9.3 (広島)

### 【その他】

#### 1) 報告書

1. 兒玉慎平, 稲留直子, 丸谷美紀, 鹿児島大学医学部保健学科看護学専攻ジュネーブ研修の報告. 鹿児島大学医学部保健学科紀要, 26(1): 59-65, 2016
2. 東郷令子, 中里香代子, 田中睦美, 須賀栄子, 半下石みゆき, 宮ノ下洋美, 江籠平菊代, 森隆子, 石野友希, 保健指導ミーティングにおける保健師現職教育実践報告 - 看護協会モデルの事例検討会を実施して - . 鹿児島県看護協会平成27年度職能委員及び常任・特別委員会関係調査報告書, 1-4, 2016

#### 2) 講演・その他

1. 米増直美: 鹿屋市保健師等人材育成研修会 講師 (通年8回), 2016 (鹿屋市)
2. 米増直美: 平成28年度 鹿児島県新任期保健師指導検討会 講師・助言者, 2016.6.29 (鹿児島市)
3. 米増直美: 鹿児島市保健師研修会 「研究に取り組む視点」, 2016.9.16 (鹿児島市)
4. 米増直美: 鹿児島市新任保健師研修会 「地区組織活動で, 地域を動かす」, 2016.12.21 (鹿児島市)
5. 兒玉慎平: 第49回鹿児島県保健看護研究会教育講演 「質の高い看護研究をめざして - 研究計画と概念枠組み - 」, 2016.1.22 (鹿児島市)
6. 兒玉慎平: 国立病院機構指宿医療センター看護部研修 「看護研究」 (通年4回), 2016 (指宿市)
7. 兒玉慎平: 鹿児島県看護協会 認定看護管理者制度ファーストレベル講習 「情報テクノロジー (情報検索)」, 2016.8.24 (鹿児島市)
8. 兒玉慎平: 鹿児島県看護協会 認定看護管理者制度ファーストレベル講習 「レポートの書き方」, 2016.8.24 (鹿児島市)
9. 兒玉慎平: 国立病院機構鹿児島医療センター看護部研修 「看護研究」, 2016.9.20 (鹿児島市)
10. 稲留直子: さつま町乳幼児健診支援 (通年10回), 2016 (さつま町)

### 【母性・小児看護学講座】

#### 【論文著書】

#### (著書)

1. 武井修治, リウマチ性疾患および類縁疾患 シンプル小児科学 (香美祥二 編 南江堂, 東京) p.161-174, 2016.
2. 武井修治, 急性リウマチ熱. 膠原病・リウマチ・アレルギー研修ノート (上阪等 編, 診断と治療社, 東京), p.370-372, 2016

## 業績目録

3. 武井修治, リウマチ性疾患. ナースとコメディカルのための小児科学(第5版) (白木和夫, 高田哲 編, 日本小児医事出版, 東京), p.163-169, 2016
4. 脇口宏之, 武井修治, ガイドラインと最新文献で学ぶ小児科学レビュー2016-17 総合医学社, 東京), p.209-225, 2016
5. 武井修治, 小児リウマチ性疾患に対する免疫抑制薬の使い方・考え方. Deruma Dream (メディカルプロフェッショナルリレーションズ, 東京), p.171, 2016
6. 武井修治, 全身性エリテマトーデス, 小児慢性特定疾病診断の手引き (診断と治療社, 東京), p.457-459, 2016
7. 武井修治, 好酸球性多発血管炎性肉芽腫, 小児慢性特定疾病診断の手引き (診断と治療社, 東京), p.481-482, 2016

### (和文論文)

1. 園田和子, 武井修治, 松成裕子, 幼児をもつ母親の育児ストレスに関する縦断的研究, 小児保健研究 75(1): 34-39, 2016
2. 武井修治, 若年性特発性関節炎 JIA の最新知見, Clinician 63(2): 247-253, 2016
3. 武井修治, 小児の症候群 高安動脈炎, 小児科診療79(増): 358, 2016
4. 武井修治, 小児リウマチ性疾患の進歩, 分子リウマチ9(2): 53, 2016
5. 久保田知洋, 武井修治, 生物学的製剤は JIA の予後をどう変えているか? 分子リウマチ9(2): 72-75, 2016
6. 武井修治, 若年性特発性関節炎 (JIA) の診断と治療, 日本臨牀 74(6) : 1028-1034, 2016
7. 園田和子, 松成裕子, 武井修治, 胎児の発育に影響を及ぼす恐れがあると考えられる妊婦の生活スタイルと心理的特性, 小児保健研究 75(4): 463-473, 2016
8. 武井修治, 新しい小児慢性特定疾病治療研究事業における小児リウマチ性疾患, 小児科診療78(8): 1017-1022, 2015.
9. 岡本奈美, 岩田直美, 梅林宏明, 大倉有加, 金城紀子, 国島知子, 久保田知洋, 清水正樹, 野澤智, 安村純子, 森雅亮, 武井修治, 横田俊平, 「若年性特発性関節炎初期診療の手引き」改定のためのアンケート調査結果の検討, 小児リウマチ7 (1): 5-13, 2016
10. 森雅亮, 三浦大, 武井修治, 既存治療で効果不十分な急性期川崎病に対するインフリキシマブの薬事承認と使用の手引き, 小児リウマチ7 (1): 74-77, 2016
11. 武井修治, 慢性疾患患児の一生を診る若年性特発性関節炎 (少関節炎・多関節炎), 小児内科48(10): 1662-1665, 2016
12. 武井修治, 川崎病: 新しい選択肢: 抗 TNF- 抗体, Mebio 33(10): 34-42, 2016
13. 山本直子, 夏井万里子, 佐藤真理, 神宮由記子, 鳴瀬真由美, 木戸千代子, 赤星衣美, 中尾優子, 母乳外来の満足度調査を実施して-A大学病院における母親への質問紙調査より-, 保健学研究28: 93-98, 2016
14. 平田恵美, 鮫島雅子, 清水川玲子, 山之内千恵, 井上尚美, 下敷領須美子, 鹿児島県内の産科施設における流産・死産へのケアの実態調査 (第1報) ~流産・死産の助産ケアの現状と助産師へのフォロー~, 鹿児島県母性衛生学会誌20: 16-20, 2016
15. 山城佳織, 丸野瑞貴, 向井蘭子, 上釜彩, 菊池八千代, 清瀬みき子, 前野さとみ, 中尾優子, 乳頭形態と母乳栄養率の関連性について, 鹿児島県母性衛生学会誌20: 21-23, 2016
16. 井上尚美, 吉留厚子, 若松美貴代, 高田久美子, 中尾優子, 看護学実習における倫理カンファレンスの意義: 母性看護学実習における倫理カンファレンス記録の分析から, 日本看護倫理学会誌 8(1): 3-15, 2016
17. 中尾優子, 吉留厚子, 井上尚美, 高田久美子, 藤野敏則, 若松美貴代, 母性看護学教育でのディベート学習の試みとその評価-学生による質問紙調査より-, 鹿児島大学医学部保健学科紀要26: 67-72, 2016
18. 田中一枝, 後迫美和, 阿久根和恵, 前野さとみ, 中尾優子, 異所性妊娠患者に付き添う看護師の思い, 母性衛生57(2): 438-446, 2016
19. 田淵康子, 吉留厚子, 伴信彦, 熊谷有記, 草間朋子, 子宮内膜症患者の健康関連 QOL(HRQOL) の実態と月経随伴症状との関連, 保健の科学58(8): 567-572, 2016
20. 松井香子, 江藤宏美, 佐々木規子, 山本直子, 永橋美幸, 宮原春美, 大石和代, 赤星衣美, 野間田真紀子. 生き生きと働く実践力のある助産師キャリアアッププログラム」実施報告2014. 保健学研究, 28: 55-62. 2016.1
21. 森藤香奈子, 大石和代, 花田裕子, 山本直子, 折田真紀子, 徳永瑛子, 岩永竜一郎, 吉田浩二, 井口茂, 浦田秀子, 大津留昌, 矢部博興, 松坂誠應, 田中悟朗, 中根秀之. 福島県川内村における子育て世代の抱える多重ストレスに関する質的研究. 長崎医学会雑誌, 91特集号:230-233. 2016.9
22. 中馬夕佳, 山下早苗, 実践報告: 臨地実習における倫理カンファレンスでのファシリテーター役割, 日本看護倫理学会誌, 8(1): 78-80, 2016

## 業績目録

### (英文論文)

1. Kubota T, Imanaka H, Takei S, Yamatou T, Nerome Y, Yamasaki Y, Nonaka Y, Akaike H, Takezaki T, Kawano Y, Disease activity score in 28 joints at 3 months after the initiation of biologic agent can be a predictive target for switching to the second biologic agents in patients with polyarticular juvenile, *Mod Rheumatol*, 26(3): 358-361, 2016
2. Nerome Y, Akaike H, Nonaka Y, Takezaki T, Kubota T, Yamato T, Yamasaki Y, Imanaka H, Kawano Y, Takei S, The safety and effectiveness of HBV vaccination in patients with juvenile idiopathic arthritis controlled by treatment. *Mod Rheumatol*, 26(3): 368-371, 2016
3. Yamasaki Y, Takei S, Imanaka H, Nerome Y, Kubota T, Nonaka Y, Akaike H, Takezaki T, Kawano Y, Prediction of long-term remission of oligo/polyarticular juvenile idiopathic arthritis with S100A12 and vasucular endothelial growth factor, 26(4): 551-556, 2016
4. Wakiguchi H, Takei S, Imanaka H, Hiraki T, Higashi M, Yamatou T, Yamasaki Y, Kubota T, Kawano Y, Severe gluteal skin ulcers in an infant with juvenile dermatomyositis, *Eur J Dermatol* 26(2): 192-193, 2016
5. Koike T, Harigai M, Ishiguro N, Inokuma S, Takei S, Takeuchi T, Yamanaka H, Takasaki Y, Mimori T, Hiramatsu K, Komatsu S, Tanaka Y, Effect of Methotrexate plus adalimumab on the achievement of rheumatoid arthritis therapeutic goals: Post hoc analysis of Japanese patients (MELODY Study), *Rheumatol Ther* 3(1): 129-141, 2016
6. Ueda N, Ida H, Washio M, Miyahara H, Tokunaga S, Tanaka F, Takahashi H, Kusuhara K, Omura K, Nakayama M, Ohara O, Nishikomori R, Minato S, Take S, Fujii T, Ishigatsubo Y, Tsukamoto H, Clinical and genetic features of patients with TNFRSF1A variants in Japan. Findings of a nationwide survey, *Arthritis Rheum* 68(11): 2760-2771, 2016
7. Harigai M, Ishiguro N, Inokuma S, Mitsumori T, Ryu J, Takei S, Takeuchi T, Tanaka Y, Takasaki Y, Wabatanabe M, Yamanaka H, Tamada H, Koike T, Postmarketing surveillance of the safety and effectiveness of abatacept in Japanese patients with rheumatoid arthritis, *Mod Rheumatol*, 26(4): 491-498, 2016
8. Wakiguchi H, Takei S, Kubota T, Miyazono A, Kawano Y, Treatable renal disease in children with silent lupus nephritis detected by baseline biopsy; association with serum C3 levels. *Clin Rheumatol*, Epub ahead of print, 2016
9. Mimori T, Harigai M, Atsumi T, Fujii T, Kuwana M, Matsuno H, Motohara S, Takei S, Tamura N, Takasaki Y, Ikeuchi S, Kushimoto S, Koike T, Safety and effectiveness of 24-week treatment with iguratimod, a new oral disease-modifying antirheumatic drug, for patients with rheumatoid arthritis: interim analysis of a post-marketing surveillance study of 2679 patients in Japan, *Mod Rheumatol*, Epub ahead of print, 2016
10. Akahoshi E, Arima K, Miura K, Nishimura T, Abe Y, Yamamoto N, Oishi K, Masuzaki H, Aoyagi K, Association of maternal pre-pregnancy weight, weight gain during pregnancy, and smoking with small-for-gestational-age infants in Japan, *Early Human Development*, 92: 33-36, 2016
11. Wakamatsu M, Nakamura M, Kasugai M, Kimotsuki H, Oki T, Orita Y, Togami S, Kobayashi H, Sano A, Douchi T, Predictive validity of the Japanese version of Postpartum Depression Predictors Inventory-Revised (PDPI-R) during pregnancy and the postpartum period, *Medical Journal of Kagoshima University*, 68(2): 9-19, 2016

### 【報告書・他】

1. 武井修治, 成人期移行直前の JIA の臨床像とその特性, 今後の小児慢性特定疾患治療研究事業のあり方に関する研究. H27年度総括研究報告書, p.91-100, 2016
2. 武井修治, バイオ時代における JIA のポイント, 会報あすなろ70(3): 5-8, 2016
3. 武井修治, 抗 TNF 抗体薬「ヒュミラ」をつかった若年性特発性関節炎 (JIA) の治療について, (武井修治監修, EAファーマ, 東京), 2016
4. 武井修治, 巻頭言 小児リウマチ性疾患における‘繋がり’, *アレルギー・免疫* 23(10): 1333, 2016

### 【学会発表】

#### (和文)

1. 久保田知洋, 山崎雄一, 根路銘安仁, 嶽崎智子, 赤池治美, 野中由希子, 今中啓之, 武井修治, 河野嘉文. S100A12と VEGF による家族性地中海熱, 若年性サルコイドーシス, 全身型若年性特発性関節炎の鑑別. 第51回九州リウマチ学会, 2016年3月 (宮崎)
2. 長倉智和, 脇口宏之, 久保田知洋, 山遠剛, 山崎雄一, 野中由希子, 赤池治美, 嶽崎智子, 根路銘安仁, 今中啓之, 武井修治. Blau 症候群における生物学的製剤治療の有効性. 第51回九州リウマチ学会, 2016年3月 (宮崎)

## 業績目録

3. 武井修治, Biologic Eraにおける若年性特発性関節炎 (JIA)の診断と治療—RAとの相違を含めて. 第40回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2016年4月 (横浜)
4. 若松美貴代, 折田有史, 沖利通, 川原裕二, 岩元一朗, 小林裕明, 堂地 勉, Postpartum Depression Predictors Inventory-Revised (PDPI-R) 日本語版による産後うつ病発生の予測に関する検討, 第68回日本産婦人科学会, 4月 (東京)
5. 森藤香奈子, 大石和代, 花田裕子, 山本直子, 折田真紀子, 徳永瑛子, 岩永竜一郎, 吉田浩二, 井口茂, 浦田秀子, 大津留昌, 矢部博興, 松坂誠應, 田中悟朗, 中根秀之. 福島県川内村における子育て世代の抱える多重ストレスに関する質的研究. 第57回原子爆弾後障害研究会. 2016年6月 (長崎)
6. 前田亜綾香, 吉留厚子, 男子大学生が父母から受けた性教育と性的態度との関連, 第35回日本思春期学会, 2016年8月 (東京)
7. 鮫島雅子, 山之内千恵, 清水川玲子, 平田恵美, 井上尚美, 下敷領須美子, 鹿児島県内の産科施設における流産・死産へのケアの実態調査～流産・死産の助産ケアの現状～, 第29回鹿児島県母性衛生学会, 2016年8月 (鹿児島)
8. 野中由希子, 久保田知洋, 山崎雄一, 赤池治美, 嶽崎智子, 今中啓之, 武井修治, 成人期移行直前の JIA の臨床像とその特性, 第52回九州リウマチ学会, 2016年9月 (熊本)
9. 山崎雄一, 久保田知洋, 野中由希子, 赤池治美, 嶽崎智子, 今中啓之, 武井修治, 河野嘉文, 本邦における間質性肺炎合併若年性皮膚筋炎 (JDM) の検討. 第52回九州リウマチ学会, 2016年9月 (熊本)
10. 武井修治, 初回 IVIG 不応の急性期川崎病に対する TNF 阻害療法, 第26回日本小児リウマチ学会総会・学術集会, 2016年10月 (千葉)
11. 野中由希子, 武井修治, 赤池治美, 嶽崎智子, 今中啓之, 久保田知洋, 山崎雄一, 根路銘安仁. 成人期移行直前の JIA の臨床像とその特性. 第26回日本小児リウマチ学会総会・学術集会, 2016年10月 (千葉)
12. 山崎雄一, 松永愛香, 久保田知洋, 野中由希子, 赤池治美, 嶽崎智子, 今中啓之, 武井修治, 河野嘉文, 皮疹出現から1か月後に受診した若年発症無筋症性皮膚筋炎に間質性肺炎を合併していた1例. 第26回日本小児リウマチ学会総会・学術集会, 2016年10月 (千葉).
13. 山崎雄一, 久保田知洋, 野中由希子, 赤池治美, 嶽崎智子, 今中啓之, 武井修治, 河野嘉文, コンプライアンス不良にも関わらず Drug-free 寛解を達成していた小児期発症 SLE の1例, 第26回日本小児リウマチ学会総会・学術集会, 2016年10月 (千葉).
14. 津留見美里, 中尾優子, 冷え取り靴下着用による身体温度および主観的感覚の変化. 第57回日本母性衛生学会, 2016年10月 (東京)
15. 盛満あゆみ, 吉留厚子, 職場における妊婦が受けているマタニティ・ハラスメントの実態, 第57回日本母性衛生学会, 2016年10月 (東京)

### (英文)

1. Kubota T, Shimizu M, Yasumura J, Nakagishi Y, Kizawa T, Yashiro M, Wakiguchi H, Yamatou T, Yamasaki Y, Takei S, Kawano Y, Early prediction for sustained long-term efficacy of the 1st biologic agent in polyarticular juvenile idiopathic arthritis; A multi-center study in Japan. 23rd Pediatric Rheumatology European Society (PReS) 2016 congress, 2016年9月 (Geneva, Italy)
2. Nakaoka Y, Isobe M, Takei S, Tanaka Y, Ishii T, Yokota S, Nomura A, Yoshida S, Nishimoto N, Efficacy and safety of tocilizumab in patients with refractory Takayasu arteritis: Results from a randomized, double-blind, placebo-controlled, phase 3 trial in Japan. American College of rheumatology annual meeting, 2016年11月 (Washington DC, USA)

---

### 【講演】

1. 武井修治, 成人領域へ移行する小児リウマチ性疾患. 第2回小児から成人までのリウマチ診療コンソーシアム, 2016年2月18日 (東京)
2. 吉留厚子, 看護・助産の記録と法律, 徳之島徳洲会病院看護部勉強会, 2016年2月 (徳之島町)
3. 武井修治, 小児膠原病の最新診療-治療・制度・予後, 小児膠原病のつどい (中四国ブロック, 2016年3月5日 (岡山))
4. 武井修治, リウマチ性疾患の薬物療法, 第5回鹿児島市薬剤師会学術講演会, 2016年3月17日 (鹿児島)
5. 武井修治, 子どもの病気と事故, 鹿児島市育児サポーター育成講座, 2016年5月20日 (鹿児島)
6. 武井修治, 若年性特発性関節炎, あすなる会関西支部の会, 2016年3月19日 (高槻市, 大阪)
7. 井上尚美, 性と生の話 あなたは大丈夫? 鹿児島県立短期大学保健関係講演会, 2016年5月 (鹿児島)
8. 中馬夕佳, 実践報告: 倫理教育を日々の看護実践にどのように生かすか: 小児看護学実習での取り組み 日本看護倫理学会第9回年次大会, 2016年5月 (京都)

## 業績目録

9. 武井修治, 川崎病に対する新規バイオ療法. 鹿児島県薬剤師会研修会 JIA 診療の要点と pit-fall, 2016年6月22日(鹿児島)
10. 中尾優子, 倫理的意思決定のプロセスへの参画(基礎編), 中堅助産師のためのステップアップ研修, 2016年6月(鹿児島)
11. 吉留厚子, 看護記録, 県立大島病院看護部勉強会, 2016年6月(奄美市)
12. 吉留厚子, 助産と記録, 鹿児島大学医学部保健学科公開講座, 2016年6月(鹿児島)
13. 吉留厚子, リーダーシップ/助産管理の基本, 鹿児島大学医学部保健学公開講座, 2016年6月(鹿児島)
14. 吉留厚子, 看護研究の基礎, 鹿児島大学医学部保健学科公開講座, 2016年7月(鹿児島)
15. Takei S, Tocilizumab, a new treatment option for systemic JIA. Our experiences in Japan, IL-6 Asia Joint Leaders Forum, 2016年7月16日(Cheju, Korea)
16. 武井修治, 小児ループス腎炎. Now and then, and future. 第30回九州小児ネフロロジー研究会, 2016年7月23日(霧島)
17. 中尾優子, 助産倫理, 鹿児島県助産師会「CLOCMiP 関連研修会」, 2016年7月(鹿児島)
18. 吉留厚子, 助産ケアと倫理, 沖縄県看護協会研修会, 2016年7月(沖縄県南風原町)
19. 井上尚美, 性と生産む性と育む性をどう生きるか?, 鹿児島県立短期大学保健関係講演会, 2016年7月(鹿児島)
20. 武井修治, 若年性特発性関節炎 JIA - Bio 時代の診断と治療. 第27回宮崎リウマチ医の会, 2016年8月6日(宮崎)
21. 若松美貴代, 妊娠・分娩・産褥期にあるハイリスク女性の心理, 中堅助産師のためのステップアップ講座, 平成28年鹿児島大学医学部保健学科公開講座, 2016年6月(鹿児島)
22. 武井修治, バイオ時代の若年性特発性関節炎の診療ポイント, あすなる会サマーキャンプ, 2016年8月20日(東京)
23. 武井修治, 小児リウマチ性疾患の診断と治療—そのコツと pit-fall, 日本小児科学会インテンシブコース, 2016年8月21日(京都)
24. 中尾優子, 看護研究における統計処理, 聖フランシスコ病院, 2016年8月(長崎)
25. 武井修治, 若年性特発性関節炎とは? あすなる会 in 広島, 2016年9月18日(広島)
26. 中尾優子, 母乳育児に関して(基礎編), 中堅助産師のためのステップアップ研修, 2016年9月(鹿児島)
27. 吉留厚子, 看護研究の基礎, 徳之島徳洲会病院看護部勉強会, 2016年9月(徳之島町)
28. 吉留厚子, リーダーシップ, 鹿児島大学医学部保健学科公開講座, 2016年10月(鹿児島)
29. 山本直子, 冬季小児感染症と食物アレルギーについて, 社会福祉法人めぐみ福祉会めぐみ保育園職員研修会, 2016.10.21(鹿児島市)
30. 武井修治, 小児膠原病の最新治療と成人期移行の課題, 小児膠原病のつどい, 2016年11月5日(糸島市, 福岡)
31. 武井修治, 関節型 JIA の診断と治療, 日本整形外科学会リウマチ研修会, 2016年11月23日(東京)
32. 武井修治, 小児リウマチ性疾患の鑑別と診断 - 皮疹, 関節炎, 不明熱を中心に, JIA 膠原病家族会2016年11月27日(那覇)
33. 井上尚美, いのちを育む性 ~大人への準備~, 鹿児島市立南中学校性に関する指導講座, 2016年11月(鹿児島)
34. 井上尚美, 今、私たちが伝えたい 伝えなければならない性とは, 鹿児島県健康教育研究会研修会, 2016年11月(鹿児島)
35. 武井修治, 子どもたちの“自分らしく生きる”を支えるために, 小児慢性疾患相談会, 2016年12月4日(大隅町)
36. 武井修治, 小児膠原病, 若年性関節リウマチの症状, 治療, 家族支援, 小児膠原病のつどい, 2016年12月17日(高知)
37. 中尾優子, 母乳育児支援 産後乳房緊満, 長崎県助産師会教育研修, 2016年12月(長崎)
38. 吉留厚子, 合同進学ガイダンス, 鹿児島大学研修会, 2016年12月(鹿児島)
39. 吉留厚子, 実習指導者研修会, 鹿児島県看護協会研修会, 2016年12月(鹿児島)
40. 井上尚美, 「いのちの誕生」いのちについて考える, 鹿児島市立皇徳寺中学校性に関する指導, 2016年12月(鹿児島)
41. 井上尚美, 「いのちの誕生」いのちについて考える, 鹿児島市立南中学校性に関する指導講座, 2016年12月(鹿児島)
42. 井上尚美, 「いのちの誕生」いのちのつながり, 鹿児島大学教育学部附属中学校性教育事業, 2016年12月(鹿児島)
43. 井上尚美, いのちを育む準備が始まった, 今。大切にしたいこと, 鹿児島大学教育学部附属中学校性教育事業, 2016年12月(鹿児島)
44. 井上尚美, 生と性について考えよう! 鹿児島大学教育学部附属中学校性教育事業, 2016年12月(鹿児島)
45. 若松美貴代, 母体・胎児の健康審査, 新人助産師合同研修, 鹿児島県看護協会, 2016年12月(鹿児島)

### その他

1. 吉留厚子, 鹿児島県立大島病院看護研究指導, 2016年1月(奄美市)
2. 吉留厚子, 鹿児島県立大島病院看護研究指導, 2016年6月(奄美市)
3. 高田久美子, 妊娠期のフィジカルアセスメント(応用編), 中堅助産師のためのステップアップ研修プログラム, 2016年6月4日

## 業績目録

(鹿児島)

4. 高田久美子, 2014産科診療ガイドライン/産科医療補償制度, 中堅助産師のためのステップアップ研修プログラム, 2016年6月12日(鹿児島)
5. 吉留厚子, 今給黎病院看護研究指導, 2016年12月(鹿児島)

## [理学療法学専攻]

### 【論文著書】

(著書)

1. 米和徳, 第19章 頸椎の疾患 上位頸椎・頸髄損傷, 今日の整形外科治療指針 第7版(土屋弘行, 紺野慎一, 田中康仁, 田中栄, 松田秀一 編 医学書院, 東京) p.628-630, 2016
2. 米和徳, 第19章 頸椎の疾患 中下位頸椎・頸髄損傷, 今日の整形外科治療指針 第7版(土屋弘行, 紺野慎一, 田中康仁, 田中栄, 松田秀一 編 医学書院, 東京) p.630-633, 2016
3. 米和徳, 9 脊椎・脊髄疾患 7.後縦靭帯骨化症, 図解 整形外科 改訂3版(久保俊一他 編著, 金芳堂, 印刷中)
4. 米和徳, 9 脊椎・脊髄疾患 8.強直性脊椎炎, 図解 整形外科 改訂3版(久保俊一他 編著, 金芳堂, 印刷中)
5. 米和徳, 9 脊椎・脊髄疾患 9.脊椎腫瘍, 図解 整形外科 改訂3版(久保俊一他 編著, 金芳堂, 印刷中)
6. 米和徳, 9 脊椎・脊髄疾患 10.脊髄腫瘍, 図解 整形外科 改訂3版(久保俊一他 編著, 金芳堂, 印刷中)
7. 米和徳, 9 脊椎・脊髄疾患 11.脊椎・脊髄損傷, 図解 整形外科 改訂3版(久保俊一他 編著, 金芳堂, 印刷中)
8. 東桂子, 樋口逸郎, ステロイドミオパチー, 脳神経疾患の基本治療指針 第4版(田村晃ほか 編, メジカルビュー社, 東京) p.708-710, 2016
9. 榎間春利, 上肢の運動が脳可塑性に与える影響, 上肢の理学療法 局所機能と全身運動を結びつけるインタラクティブ・アプローチ(地上裕史, 斉藤秀之 編 三輪書店) p.165, p.179, 2016

(和文論文)

1. 山元拓哉, 石堂康弘, 精松昌彦, 富永博之, 河村一郎, 米和徳, 小宮節郎, MEP 単独モニターでの脊柱変形矯正手術における神経合併症, J Spine Res 7(3):391, 2016
2. 富永博之, 山元拓哉, 精松昌彦, 河村一郎, 石堂康弘, 米和徳, 小宮節郎, 脊椎術後感染症 (SSI) と尿路感染症 (UTI) の危険因子比較, J Spine Res 7(3): 403, 2016
3. 河村一郎, 山元拓哉, 精松昌彦, 富永博之, 石堂康弘, 米和徳, 小宮節郎, 中学・高校生の特発性側弯症術後におけるスポーツ活動調査, (ア) J Spine Res 7(3): 637, 2016
4. 精松昌彦, 山元拓哉, 富永博之, 河村一郎, 石堂康弘, 米和徳, 小宮節郎, 脊髄髄膜腫における27年間の術後成績と治療における工夫, Journal of Spine Research 7(3):712, 2016
5. 中尾周平, 榎間春利, 長谷場純仁, 吉田輝, 窪園琢郎, 窪田佳代子, 重症肺動脈性高血圧患者に対する理学療法の有効性, PT ジャーナル50(2):532-535, 2016
6. 中尾周平, 榎間春利, 長谷場純仁, 吉田輝, 窪園琢郎, 窪田佳代子, 当院での肺高血圧症患者に対するリハビリテーションの現状と今後の展望～症例検討を中心に～, 心臓リハ, 24(4):174-179, 2016
7. 中尾周平, 榎間春利, 長谷場純仁, 吉田輝, 窪園琢郎, 窪田佳代子, 肺静脈閉塞症患者に対する理学療法介入が運動耐容能やADL に及ぼす影響, 総合リハビリテーション, 44(7): 625-628, 2016
8. 山田誠, 石原田秀一, 大渡昭彦, 二次予防事業の不参加者特性と介護予防マシンの開発コンセプト - 身体機能の向上と参加意欲を両立させるマシンの開発要件, 鹿児島大学法文学部紀要「経済学論集」, 86:39-63, 2016
9. 和田隆, 小野恵, 外西正博, 有川順子, 新保直規, 木山良二, 大渡昭彦, 大重匡, 吉元洋一, 虚弱高齢者において生活空間と身体機能が転倒リスクに与える影, 理学療法科学, 31(1):81-85, 2016
10. 松田史代, ペルー障がい者スポーツ支援派遣事業の活動報告 - JICA 短期ボランティア派遣事業 -, 鹿児島大学医学部保健学科紀要, 26:51-58, 2016

## 業績目録

### (英文論文)

1. Orita S, Yamashita T, Ohtori S, Yonenobu K, Kawakami M, Taguchi T, Kikuchi S, Ushida T, Konno S, Nakamura M, Fujino K, Matsuda S, Yone K, Takahashi K, Prevalence and location of neuropathic pain in lumbar spinal disorders: analysis of 1,804 consecutive patients with primary lower back pain: *Spine*, 41(15):1224-31, 2016
2. Hayashi K, Hamano T, Kawamura Y, Kimura H, Matsunaga A, Ikawa M, Yamamura O, Mutoh T, Higuchi I, Kuriyama M, Nakamoto Y, Muscle MRI of the Upper Extremity in the Myotonic Dystrophy Type 1: *Eur Neurol*, 76(1-2):87-94, 2016
3. Suzuki N, Mori-Yoshimura M, Yamashita S, Nakano S, Murata KY, Inamori Y, Matsui N, Kimura E, Kusaka H, Kondo T, Higuchi I, Kaji R, Tateyama M, Izumi R, Ono H, Kato M, Warita H, Takahashi T, Nishino I, Aoki M, Multicenter questionnaire survey for sporadic inclusion body myositis in Japan: *Orphanet J Rare Dis*, 11(1):146, 2016
4. Ueda Y, Suwazono S, Maedo S, Higuchi I, Profile of cognitive function in adults with Duchenne muscular dystrophy: *Brain Dev*, 2016 Nov 5, pii:S0387-7604(16)30174-7. doi: 10.1016/j.braindev. 2016 [Epub ahead of print]
5. Otsuka S, Sakakima H, Sumizono M, Takada S, Terashi T, Yoshida Y, The neuroprotective effects of preconditioning exercise on brain damage and neurotrophic factors after focal brain ischemia in rats: *Behav Brain Res*, 303:9-18, 2016
6. Shimada H, Otero M, Tsuchimochi K, Yamasaki S, Sakakima H, Matsuda F, Sakasegawa M, Setoguchi T, Xu L, Goldring MB, Tanimoto A, Komiya S, Ijiri K, CCAAT/enhancer binding protein (C/EBP ) regulates the transcription of growth arrest and DNA damage-inducible protein 45 (GADD45 ) in articular chondrocytes: *Pathol Res Pract*, 212(4):302-9, 2016
7. Tokunaga K, Nakai Y, Matsumoto R, Kiyama R, Kawada M, Ohwatashi A, Fukudome K, Ohshige T, Maeda T, Effect of foot progression angle and lateral wedge insole on a reduction in knee adduction moment: *J Appl Biomech*, 32(5):454-461, 2016
8. Khan M, Dhammu T.S., Matsuda F, Annamalai B, Dhindsa T.S., Singh I, Singh A.K., Targeting the nNOS/peroxynitrite/calpain system to confer neuroprotection and aid functional recovery in a mouse model of TBI: *Brainresearch*, 1630:159-170, 2016
9. Shimada H, Otero M, Tsuchimochi K, Yamasaki S, Sakakima H, Matsuda F, Sakasegawa M, Setoguchi T, Xu L, B.Goldring M, Tanimoto A, Komiya S, Ijiri K, CCAAT/enhancer binding protein1 (C/EBP1) regulates the transcription of growth arrest and DNA damage-inducible protein 45 (GADD45) in articular chondrocytes: *Pathol Res Pract*, 212:302-309, 2016

### 【学会発表】

#### (和文)

1. 山元拓哉, 石堂康弘, 精松昌彦, 富永博之, 河村一郎, 米 和徳, 小宮節郎, MEP 単独モニターでの脊柱変形矯正手術における神経合併症, 第45回日本脊椎脊髄病学会, 2016年4月 (千葉)
2. 富永博之, 山元拓哉, 精松昌彦, 河村一郎, 石堂康弘, 米 和徳, 小宮節郎, 脊椎術後感染症 (SS) と尿路感染症 (UTI) の危険因子比較, 第45回日本脊椎脊髄病学会, 2016年4月 (千葉)
3. 河村一郎, 山元拓哉, 精松昌彦, 富永博之, 石堂康弘, 米 和徳, 小宮節郎, 中学・高校生の特発性側弯症術後におけるスポーツ活動調査, 第45回日本脊椎脊髄病学会, 2016年4月 (千葉)
4. 精松昌彦, 山元拓哉, 富永博之, 河村一郎, 石堂康弘, 米 和徳, 小宮節郎, 脊髄髄膜腫における27年間の術後成績と治療における工夫, 第45回日本脊椎脊髄病学会, 2016年4月 (千葉)
5. 眞田雅人, 山元拓哉, 精松昌彦, 富永博之, 河村一郎, 米 和徳, 小宮節郎, MEP 単独モニター下の脊柱変形矯正手術における falsenegative 症例, 第85回西日本脊椎研究会, 2016年6月 (福岡)
6. 加世田圭一郎, 精松昌彦, 富永博之, 河村一郎, 山元拓哉, 石堂康弘, 岡本裕嗣, 米 和徳, 小宮節郎, 重篤な下肢麻痺を呈した胸椎肥厚性硬膜炎に対する手術経験, 第131回西日本整形災害外科学科, 2016年6月 (北九州)
7. アンセリム プレタコスタシア, 山元拓哉, 石堂康弘, 精松昌彦, 富永博之, 堀之内 駿, 米 和徳, 小宮節郎, 腰仙移行椎の椎体間骨棘によるL5神経根椎間孔外障害に対し, 前方手術を施行した1例, 第132回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2016年11月 (鹿児島)
8. 樋口逸郎, 平松 有, 樋口昭大, 岡本裕嗣, 松浦英治, 高嶋 博, 次世代シークエンサーを用いた封入体筋炎のミトコンドリア異常の検索, 希少難治性筋疾患に関する調査研究班 IBM 分科会, 2016年2月 (東京)
9. 金子浩之, 中川広人, 樋口昭大, 徳永紘康, 樋口逸郎, 高嶋 博, 園田 健, 早期免疫グロブリン大量静注療法 (IVIg) が奏効した抗 SRP 抗体陽性ミオパチーの一例, 第213回 日本神経学会九州地方会, 2016年3月 (福岡)
10. 吉田尚弘, 遠藤 仁, 木内謙一郎, 林地のぞみ, 森本 聡, 樋口逸郎, 高嶋 博, 福田恵一, 佐野元昭, 市原淳弘, 加齢性骨格筋減少症における(プロ)レニン受容体 Wnt シグナルを介した新規分子機構, 第53回日本臨床分子医学会学術総会, 2016年4

## 業績目録

月(東京)

11. 吉田尚弘, 遠藤 仁, 森本 聡, 山下 薫, 樋口逸郎, 高嶋 博, 福田恵一, 佐野元昭, 市原淳弘, 加齢性骨格筋減少症における(プロ)レニン受容体-Wntシグナルを介した新規分子機構の解明, 第89回日本内分泌学会学術総会, 2016年4月(京都)
12. 平松 有, 岡本裕嗣, 吉村明子, 橋口昭大, 樋口逸郎, 高嶋 博, 次世代シークエンサーを用いた封入体筋炎のミトコンドリア遺伝子の検索, 第57回日本神経学会学術大会, 2016年5月(神戸)
13. 園田真祐美, 樋口逸郎, 松田史代, 老化促進マウスを用いた加齢によるサルコペニアのオートファジー関与について, 第51回日本理学療法学術大会, 2016年5月(札幌)
14. 中村裕樹, 中村彩乃, 窪田正大, 樋口逸郎, 入院骨折患者の骨格筋量測定の有用性, 第3回日本転倒予防学会学術集会, 2016年10月(名古屋)
15. 藤川寿史, 木村玲央, 藤崎友輝, 竹下直樹, 宮崎雅司, 井尻幸成, 大塚章太郎, 榊間春利, 腰椎手術患者の術前・術後の体幹筋トレーニングによる腹横筋, 内・外腹斜筋の筋厚変化, 第51回日本理学療法学術大会, 2016年5月(札幌)
16. 大塚章太郎, 角園恵, 寺師拓斗, 高田聖也, 吉田義弘, 榊間春利, 脳梗塞発症前トレッドミル運動による障害軽減効果と神経保護作用機序の検討, 第51回日本理学療法学術大会, 2016年5月(札幌)
17. 中尾周平, 長谷場純仁, 榊間春利, 吉田輝, 脳死肺移植術後患者の身体機能やADL能力の経時的変化, 第51回日本理学療法学術大会, 2016年5月(札幌)
18. 長谷場純仁, 榊間春利, 中尾周平, 大平美咲, 柳賀文, 吉田輝, フォンタン術後に急性期リハビリテーションを施行した先天性心疾患児の粗大運動能力の回復, 2016年9月(京都)
19. 宇都良大, 小野田哲也, 愛下由香里, 田中梨美子, 大重匡, アロディニアによりQORが低下した症例への介入方法 2型糖尿病患者1例, 2016年11月(鹿児島)
20. 才田剛志, 木山良二, 大渡昭彦, 貴島芳文, 前田哲男, 体幹の加速度・角速度を指標とした人工膝関節全置換術による歩容変化の分析, 第51回日本理学療法学術大会, 2016年5月(東京)
21. 貴嶋芳文, 木山良二, 大重匡, 藤元登四郎, 関根正樹, 田村俊世, リサーチ波形を用いた歩行評価のフィードバック手段としての可能性, 第51回日本理学療法学術大会, 2016年5月(東京)
22. 松澤雄太, 貴嶋芳文, 木山良二, 福永誠司, 藤元登四郎, 関根正樹, 田村俊世, 脳卒中片麻痺歩行の加速度指標とリサーチ図形の関係, 九州理学療法士・作業療法士合同学会2016, 2016年11月(鹿児島)
23. 松田史代, 榊間春利, 樋口逸郎, 米和徳, 低~中強度の定期的な運動が実験的脳梗塞ラットのヒラメ筋に及ぼす影響について, 第51回日本理学療法学術大会, 2016年5月(札幌)

(英文)

1. Ueda Yukihiko, Suwazono Shugo, Maedo Sino, Higuchi Itsuro, Profile of cognitive functions in adults with Dystrophinopathy. 31st International Congress of Psychology, 2016年7月, (Yokohama)
2. Kiyama R, Saida T, Tsuneyoshi Y, Kijima Y, Kawada M, Maeda T, Study on the characteristics of trunk fluctuation in patients with knee osteoarthritis using an accelerometer and gyroscope, Asian Confederation of Physical Therapy Congress, 2016年10月(Kuala Lumpur, Malaysia)
3. Matsuda F, The report of the project of support for disabled sports in Peru -international fellowship-, Asian Confederation of Physical Therapy Congress, 2016年10月(Kuala Lumpur, Malaysia)
4. Kawada M, Yamamoto E, Kiyama R, Maeda T, Analysis of motor learning during asymmetric gait using accelerometer, Asian Confederation of Physical Therapy Congress, 2016年10月(Kuala Lumpur, Malaysia)

【その他】

1) 講演

1. 米 和徳, 慢性疼痛の古くて新しい治療戦略, Chronic Pain Forum 2016, 2016年1月(大分)
2. 米 和徳, 運動器慢性疼痛の治療, 慢性疼痛を学ぶ会 in 指宿, 2016年2月(指宿)
3. 米 和徳, 運動器慢性疼痛の治療, 慢性疼痛に対する最近の治療を学ぶ会, 2016年5月(奄美)
4. 米 和徳, 高齢者の運動器障害, 平成28年度鹿児島大学医学部保健学科臨床理学療法学講座公開講座「高齢者の介護」, 2016年8月(鹿児島)
5. 樋口逸郎, 脳卒中 運動器障害に対する治療と高齢者介助法について, 平成28年度鹿児島大学医学部保健学科臨床理学療法学



## 業績目録

- 講座公開講座「高齢者の介護」, 2016年9月 (鹿児島)
6. 前田哲男, 大渡昭彦, 木山良二, 理学療法士・作業療法士のためのやさしい生体力学, 平成28年度鹿児島大学医学部保健学科基礎理学療法講座公開講座, 2016年6月 (鹿児島)
  7. 大重 匡, 内部障害に対する理学療法の進め方の基本, 日本理学療法士協会, 2016年12月 (福岡)
  8. 大重 匡, 内部障害に対する理学療法の進め方の基本, 日本理学療法士協会, 2016年9月 (鹿児島)
  9. 大重 匡, 生体力学からみたトランスファー, 平成28年度鹿児島大学医学部保健学科臨床看護学講座公開講座「リハビリテーションを目指すケア - 最期までその人らしさを支える -」, 2016年9月 (鹿児島)
  10. 大渡昭彦, 健康増進講義, いちき串木野市, 2016年1月 (鹿児島)
  11. 大渡昭彦, 新人教育「職業倫理」, 鹿児島県理学療法士会, 2016年4月, 7月 (鹿児島)
  12. 大渡昭彦, 膝痛・腰痛予防教室, 鹿児島市北部保健センター, 2016年6月 (鹿児島)
  13. 大渡昭彦, 「鹿児島市住民主体の通いの場」研修会, 鹿児島市, 2016年7月 (鹿児島)
  14. 木山良二, 転倒骨折予防教室, 鹿児島市保健所, 2016年10月 (鹿児島)
  15. 松田史代, 新人教育「人間関係および接遇」「研究方法論」, 鹿児島県理学療法士会, 2016年4月 計2回 (鹿児島)
  16. 松田史代, 専門領域トピックス領域「国際交流・国際協力」, 鹿児島県理学療法士会, 2016年6月 (鹿児島)
  17. 松田史代, 「日本の障がい者スポーツ区分判定と導入」, ベルギー障がい者指導員講習会, 2016年9月 (ベルギー)
  18. 松田史代, 「ボッチャの国際区分」, ベルギー障がい者指導員講習会, 2016年9月 (ベルギー)
  19. 松田史代, ワークショップ講師「ボッチャ」, ベルギー障がい者指導員講習会, 2016年9月 (ベルギー)
  20. 松田史代, 「日本の障がい者スポーツについて」, フェデリコ・ヴィラレアル大学, 2016年8月 (ベルギー)
  21. 川田将之, 転倒骨折予防教室, 鹿児島市中央保健センター, 2016年8月 (鹿児島)
  22. 川田将之, 転倒骨折予防教室, 鹿児島市中央保健センター, 2016年9月 (鹿児島)
  23. 川田将之, 新人教育「症例報告・発表の仕方」, 鹿児島県理学療法士会, 2016年10月 (鹿児島)

### 2) その他

1. 松田史代, ベルギー「障がい者スポーツ普及支援」, JICA 短期ボランティア派遣, 2016年8月～9月 (ベルギー)

## 〔作業療法学専攻〕

### A. 著書

なし

### B. 論文

1. Iso N, Moriuchi T, Sagari A, Kitajima K, Iso F, Tanaka K, Kikuchi Y, Tabira T, Higashi T, Monitoring local regional hemodynamic signal changes during motor execution and motor imagery using near-infrared spectroscopy. *Front Physiol*, 6(416) doi: 10.3389, 2016
2. Iso N, Ooso S, Yamamoto N, Moriuchi T, Sagari A, Iso F, Tanaka K, Tabira T, Higashi T, Effect of mental practice using inverse video of the unaffected upper limb in a subject with chronic hemiparesis after stroke. *J Phys Ther Sci*, 28(10): 2984-2987, 2016
3. 有川瑛人, 窪田正大, 原口友子, 脳損傷患者の言語流暢性課題と二重課題干渉 - 注意機能の役割に関する検討 -, 認知リハビリテーション21(1) : 59-65, 2016
4. 井上和博, 柳田信彦, 窪田正大, 深野佳和, 赤崎安昭, 発達障害児を持つ母親の育児ストレス - 児童発達支援事業所における調査の解析 -, 鹿児島大学医学部保健学科紀要26(1) : 13-20, 2016
5. 上城憲司, 西田征治, 田平隆行, 小川敬之, 認知症の人に対する作業療法実践の文献研究 - 41の事例報告 -, 作業療法35 (1) : 83-96, 2016
6. 瀬戸山弘貴, 窪田正大, 竹内明禅, 五十峯淳一, 八反丸健二, 骨折患者の転倒リスクと住環境リスク要因との関連性, 保健の科学58(2) : 135-142, 2016
7. 高吉進, 窪田正大, 岩村そのえ, 岩村秀世, 東郷伸一, 藤元登四郎, 失語症患者のコミュニケーション能力に関する研究 短

## 業績目録

- 縮版CADL, SLTA, FIM認知機能を用いた検討 - , 鹿児島高次脳機能研究会会誌27(1) : 39-46, 2016
8. 谷内まみ, 井上和博, 深野佳和, 言語性ワーキングメモリにおける音韻処理と意味処理について, 鹿児島大学医学部保健学科紀要 26 (1) : 35-40, 2016
  9. 田平隆行, 認知症高齢者に対するリハビリテーション介入のレビュー - 地域での介入研究を中心に -, OTジャーナル50 (2) : 117-121, 2016
  10. 田平隆行, 日頃の臨床実践を実験研究で検証してみる, 作業療法35 (6) : 577-581, 2016
  11. 富永美紀, 上城憲司, 西田征治, 田平隆行, 太田保之, 若年性認知症の人とその家族介護者の思いの分析, 作業療法35 (5) : 545-555, 2016

### C. 学会発表

1. 赤崎安昭, ワークショップ: 精神科専門医に求められる司法精神鑑定 (司法精神医学委員会) (日本司法精神医学会推薦) 統合失調症の司法精神鑑定, 第112回日本精神神経学会学術総会, 2016年6月 (東京)
2. 赤崎安昭, 森岡洋史, 小山徹平, 上村佳代, 井上和博, 柳田信彦, 堀切靖, 山畑良蔵, 司法精神鑑定の結果が司法判断に反映されなかった2事例 - 精神鑑定業務に対する pride, 第12回日本司法精神医学会, 2016年6月 (千葉)
3. 荒巻裕迪, 松尾崇史, 田平隆行, ブリズム順応療法が脳卒中片麻痺患者の座位姿勢に与える影響-パイロットスタディ-, 第15回佐賀県作業療法学会, 2016年5月 (佐賀)
4. 池田由里子, 吉満孝二, 窪田正大, 要支援高齢者が訴えるもの忘れと注意機能の関連性の検討, 第50回日本作業療法学会, 2016年9月 (札幌市)
5. 池村知江, 下赤久美, 池畑飛鳥, 瀬戸山弘貴, 窪田正大, 看護職の目標達成に対する調査 面接, 特性的自己効力感尺度と達成動機尺度を用いて, 第58回全日本病院学会 in 熊本, 2016年10月 (熊本市)
6. 石田俊, 窪田正大, 入井祐太, 坂元俊哉, 竹内明禅, 五十峯淳一, 八反丸健二: 高齢者における歩行能力および転倒リスクの検討 - Frail CS と10M歩行を用いて -, 第29回鹿児島県理学療法士学会, 2016年2月 (出水市)
7. 石田俊, 窪田正大, 切通優, 五十峯淳一, 八反丸健二, 脳卒中後片麻痺患者における反復性低頻度経頭蓋磁気刺激と集中的リハビリテーションの併用療法が立位バランス能力と歩行能力へおよびす影響, 第7回 Stimulation Therapy 研究会 in 京都, 2016年7月 (京都市)
8. 井上和博, 柳田信彦, 赤崎安昭, 児童発達支援事業所に通う子どもを持つ母親の育児ストレス (第2報) ~ 健常児の母親との比較検討 ~, 第57回日本心身医学会, 2016年6月 (仙台)
9. 井上和博, 先成聖, 峯戸松衛, 中村侑司, 柳田信彦, 児童発達支援事業における作業療法的視点の有益性について ~ 啓発活動の実施状況および研修会のアンケート結果報告を含めて ~, 第50回日本作業療法学会, 2016年9月 (札幌)
10. 井上和博, 柳田信彦, 赤崎安昭, 幼児期自閉スペクトラム症の身体模倣の特徴 - 対人関係等の改善に対する作業療法的介入を目指して -, 第69回九州精神神経学会, 2016年12月 (那覇)
11. 韓旼熙, 高橋弘樹, 丸田道雄, 田平隆行, 高齢脳損傷患者の心の理論の特徴, 第10回日本作業療法研究会学術大会, 2016年5月 (新潟)
12. 韓旼熙, 丸田道雄, 高橋弘樹, 國崎啓介, 田平隆行, 高齢脳損傷患者の表情認知の特徴, 第50回日本作業療法学会, 2016年9月 (札幌)
13. 久保はるみ, 中村裕樹, 中間賢二, 吉田昇司, 立山瑛子, 窪田正大: 回復期リハビリテーション病棟入院中の脳血管障害患者における心理状態の変化について一複数の観察評価を用いての検討一. リハビリテーション・ケア合同研究大会茨城2016, 2016年10月 (茨城)
14. 窪田正大, 久留千幸, 有川瑛人, 吉満孝二, 池田由里子, 脳卒中患者における展望記憶と遂行機能との関係について. 第50回日本作業療法学会, 2016年9月 (札幌市)
15. 江夏悠起, 八反丸健二, 窪田正大, 切通優, 本松逸平, 反復性低頻度経頭蓋磁気刺激と集中的リハビリテーションの併用療法における上肢麻痺レベル (Br.stage) 別にみた客観的評価と主観的評価の変化について, 第7回 Stimulation Therapy 研究会 in 京都, 2016年7月 (京都市)
16. 小城くみこ, 楠本朗, 赤崎安昭, 堀切靖, 森岡洋史, 自閉症スペクトラム症を精神病理学的に理解するための試み - 第4報 -, 第39回日本精神病理学会, 2016年10月 (静岡)
17. 高橋弘樹, 韓旼熙, 丸田道雄, 田平隆行, 運動課題と精神的ストレス課題が痛み関連脳電位に及ぼす影響, 第10回日本作業療法研究会学術大会, 2016年5月 (新潟)

## 業績目録

18. 高橋弘樹, 丸田道雄, 韓旼熙, 田平隆行, 精神的ストレス課題と運動課題が主観的痛みと痛み関連電位に及ぼす影響, 第50回日本作業療法学会, 2016年9月(札幌)
19. 高吉進, 窪田正大, 岩村そのえ, 岩村秀世, 東郷伸一, 藤元登四郎, 失語症患者のコミュニケーション能力に関する研究 - 短縮版CADL, SLTA, FIM認知項目を用いた検討 -, 第17回日本言語聴覚学会, 2016年6月(京都市)
20. 田川真一郎, 林岳宏, 神田英介, 肝付洋, 春日井基文, 中村雅之, 赤崎安昭, 佐野輝, 思春期に強迫症状で発症し, 青年期に幻覚妄想状態に移行した22q11.2欠失症候群の1例, 第94回鹿児島精神神経学会, 2016年7月(鹿児島)
21. 田川真一郎, 林岳宏, 前田冬海, 神田英介, 肝付洋, 春日井基文, 鮫島三恵子, 鮫島稔弥, 中村雅之, 赤崎安昭, 佐野輝, 抗精神病薬に対する反応が異なる22q11.2欠失症候群の2症例, 第69回九州精神神経学会, 2016年12月(沖縄)
22. 田平隆行, 田山淳, 松尾崇史, 長谷川隆史, 松平浩, 慢性腰痛を有する高齢者に対する注意バイアス修正法に関する事象関連電位研究, 第50回日本作業療法学会, 2016年9月(札幌)
23. 依積田和美, 中村裕樹, 窪田正大: 脳血管障害患者におけるトイレ動作自立度予測の試み. リハビリテーション・ケア合同研究大会茨城2016, 2016年10月(茨城)
24. 富山おりえ, 平嶺真吾, 柳田信彦, 井上和博, 赤崎安昭, グループ回想法が認知症患者の主観的幸福感に与える影響, 第50回日本作業療法学会, 2016年9月(札幌)
25. 中間賢二, 窪田正大, 久保はるみ, 吉田昇司, 立山瑛子, 脳卒中患者に関する脳卒中後の抑うつ症状(PSD)と心身機能障害との関係, 第50回日本作業療法学会, 2016年9月(札幌)
26. 中村裕樹, 森永明倫, 窪田正大, 骨折患者に対する体組成計(InBody)を用いた筋肉量評価の有用性についての検討. 日本サルコペニア・悪液質・消耗性疾患研究会 第3回研究会, 2016年4月(鹿児島市)
27. 中村裕樹, 中村彩乃, 窪田正大, 樋口逸郎, 入院骨折患者の骨格筋量測定の有用性, 日本転倒予防学会 第3回学術集会, 2016年10月(愛知)
28. 濱本美帆, 竹田尚登, 神崎美穂, 増田陽子, 重信穂菜美, 新牧恭太, 西圭三, 森園正樹, 赤崎安昭, 三州脇田丘病院リワーク(復職支援)プログラムの実績と支援の特徴-その多様性と連携について-, 第95回鹿児島精神神経学会プログラム, 2016年11月(鹿児島)
29. 林岳宏, 前田冬海, 神田英介, 田川真一郎, 肝付洋, 春日井基文, 鮫島三恵子, 鮫島稔弥, 中村雅之, 赤崎安昭, 佐野輝, 統合失調症症状を呈した22q11.2欠失症候群の2例, 第38回日本生物学的精神医学会・第59回日本神経化学学会大会, 2016年9月(福岡)
30. 平嶺真吾, 富山おりえ, 柳田信彦, 認知症専門棟におけるグループ回想法の効果, 第17回九州ブロック介護老人保健施設大会, 2016年5月(鹿児島)
31. 平嶺真吾, 富山おりえ, 柳田信彦, 井上和博, 赤崎安昭, 認知症患者に対するグループ回想法の即時的影響, 第50回日本作業療法学会, 2016年9月(札幌)
32. 松尾崇史, 荒巻裕迪, 森内剛史, 田平隆行, 東登志夫, 視覚的無視症状に対する聴覚的空間探索訓練の効果検証, 第50回日本作業療法学会, 2016年9月(札幌)
33. 丸田道雄, 高橋弘樹, 韓旼熙, 宮田浩紀, 田平隆行, 自己選択や外的報酬が反応時間とP300に及ぼす影響, 第10回日本作業療法研究学会学術大会, 2016年5月(新潟)
34. 丸田道雄, 高橋弘樹, 韓旼熙, 宮田浩紀, 田平隆行, 課題内容を自分で選択することは視覚的反応時間や認知処理反応を促進するか?, 第50回日本作業療法学会, 2016年9月(札幌)
35. 福永一喜, 柳田信彦, 久保田真作, 工藤誓子, 佐藤大輔, 性的な触法行為を繰り返す統合失調症患者2例に対する作業療法の試み, 第50回日本作業療法学会, 2016年9月(札幌)
36. 藤田賢太郎, 築瀬 誠, 作業療法学生の学習に対する動機づけのあり方 - 課題価値測定尺度による検討 -, 第50回日本作業療法学会, 2016年9月(札幌市)
37. 藤田賢太郎, 築瀬 誠, 作業療法学生の授業形態の違いによる課題価値 - 課題価値測定尺度による検討 -, 第38回九州理学療法士・作業療法士合同学会, 2016年11月(鹿児島市)
38. 堀田牧, 小山明日香, 村田美希, 吉浦和宏, 田平隆行, 田中響, 石川智久, 橋本衛, 池田学, ADとDLBにおける生活行為障害の特徴と自立の割合に関する研究, 第35回日本認知症学会学術集会, 2016年12月(東京)
39. 柳田信彦, 平嶺真吾, 富山おりえ, 井上和博, 赤崎安昭, 認知症患者に対するグループ回想法が与える影響(第2報) ~ PGCモラルスケールを指標にした主観的QOL研究 ~, 第57回日本心身医学会, 2016年6月(仙台)
40. 柳田信彦, 平嶺真吾, 富山おりえ, 井上和博, 赤崎安昭, グループ回想法が認知症患者の行動・心理症状(BPSD)に与える

## 業績目録

- 影響（第2報），第94回鹿児島精神神経学会，2016年7月（鹿児島）
41. 柳田信彦，宮城幸佑，中山優紀，井上和博，内野俊郎，精神科病院における統合失調症長期入院患者に対する心理教育の研究段階的服薬自己管理プログラムを併用して，第50回日本作業療法学会，2016年9月（札幌）
  42. 柳田信彦，平嶺真吾，富山おりえ，古市絵美，井上和博，赤崎安昭，グループ回想法が認知症高齢者のストレス，QOL，中核症状に及ぼす影響，第69回九州精神神経学会，2016年12月（那覇）
  43. 吉満孝二，窪田正大，池田由里子，独居高齢者の主観的健康観に影響を及ぼす要因，第50回日本作業療法学会，2016年9月（札幌市）

### D. その他

#### 1) 論文・報告書

1. 赤崎安昭，職場とメンタルヘルス（精神科の立場から），鹿児島大学医学部医師会報第35号，51-53，2016
2. 赤崎安昭，うつ病者の復職（リワーク）に必要な医療，鹿児島労基 No.689，p5，2016
3. 赤崎安昭，起訴前精神鑑定から得られるもの - 子を殺す親・親を殺す子の考察も含めて，北陸司法精神医学懇話会会報第19号，2-12，2015
4. 赤崎安昭，強いこだわりに悩む病気 - 強迫性障害の診断と治療は専門家へ - ，鹿児島県医師会報第782号，38-39，2016
5. 赤崎安昭，うつ状態・うつ病の人たちから得た教訓 - ストレスチェック制度および司法精神鑑定の経験を通して - ，始良地区医師会報 vol.159，平成28年秋号，24-32，2016
6. 池田学，石川智久，田中響，北村立，川越雅弘，小川敬之，田平隆行，堀田牧，村田美希，吉村和弘，厚生労働科学研究費補助金長寿科学政策研究事業，生活行為障害の分析に基づく認知症リハビリテーションの標準化に関する研究，平成27年度総括・分担研究報告書，28-32，2016

#### (司法精神鑑定)

1. 赤崎安昭，公務執行妨害・傷害被疑事件 刑事 簡易鑑定，平成28年1月
2. 赤崎安昭，放火被疑事件 刑事 本鑑定 平成28年1月
3. 赤崎安昭，傷害被疑事件 刑事 簡易鑑定 平成28年2月
4. 赤崎安昭，窃盗被疑事件 刑事 簡易鑑定 平成28年2月
5. 赤崎安昭，殺人未遂 被疑事件 刑事 本鑑定 平成28年2月
6. 赤崎安昭，暴行被疑事件 刑事 簡易鑑定 平成28年3月
7. 赤崎安昭，殺人被疑事件 刑事 本鑑定平成28年3月
8. 赤崎安昭，強姦被告事件 刑事 簡易鑑定（意見書）平成28年6月
9. 赤崎安昭，窃盗被告事件 刑事 公判鑑定 平成28年6月
10. 赤崎安昭，暴行被疑事件 刑事 本鑑定平成28年9月
11. 赤崎安昭，器物損壊被疑事件 刑事 簡易鑑定 平成28年9月
12. 赤崎安昭，強盗被疑事件 刑事 本鑑定平成28年9月
13. 赤崎安昭，危険運転致傷被疑事件 刑事 本鑑定 平成28年12月

#### (民事精神鑑定)

1. 赤崎安昭，後見開始申立事件 平成28年1月
2. 赤崎安昭，後見開始申立事件 平成28年2月
3. 赤崎安昭，後見開始申立事件 平成28年3月
4. 赤崎安昭，後見開始申立事件 平成28年3月
5. 赤崎安昭，後見開始申立事件 平成28年4月
6. 赤崎安昭，後見開始申立事件 平成28年5月
7. 赤崎安昭，補助開始申立事件 平成28年6月
8. 赤崎安昭，後見開始申立事件 平成28年7月
9. 赤崎安昭，保佐開始申立事件 平成28年8月
10. 赤崎安昭，後見開始申立事件 平成28年9月

## 業績目録

11. 赤崎安昭, 後見開始申立事件 平成28年10月
12. 赤崎安昭, 後見開始申立事件 平成28年11月
13. 赤崎安昭, 後見開始申立事件 平成28年12月

### (医療観察法に関する業務)

1. 赤崎安昭, 傷害被疑事件 平成28年2月
2. 赤崎安昭, 殺人被疑事件 平成28年6月
3. 赤崎安昭, 放火被疑事件 平成28年6月
4. 赤崎安昭, 放火被疑事件 平成28年9月
5. 赤崎安昭, 傷害被疑事件 平成28年10月
6. 赤崎安昭, 放火被疑事件 平成28年12月

### (労働災害に関する業務)

1. 赤崎安昭, 労働災害に対する意見書 平成28年1月
2. 赤崎安昭, 労働災害に対する意見書 平成28年5月
3. 赤崎安昭, 労働災害に対する意見書 平成28年5月
4. 赤崎安昭, 労働災害に対する意見書 平成28年6月
5. 赤崎安昭, 労働災害に対する意見書 平成28年8月
6. 赤崎安昭, 労働災害に対する意見書 平成28年9月

### 2) 講演, 他

1. 赤崎安昭, 事例検討ワークショップ - 殺人被疑事件・起訴前精神鑑定の事例, 日本精神神経学会・第5回司法精神医学研修会, 2016年1月(東京)
2. 赤崎安昭, カリキュラム目標設定・方略の作成・評価の計画づくり(基礎編), 平成27年度精神科七者懇談会 第2回臨床研修指導医研修会, 2016年2月(福岡)
3. 赤崎安昭, 模擬裁判(志学館大学法学部合同)-統合失調症者の責任能力について-, 第8回鹿児島司法精神医学研究会, 2016年2月(鹿児島)
4. 赤崎安昭, 発達障害を持つ人たちの問題点と支援, 鹿児島産業保健総合支援センター産業保健研修会, 2016年3月(鹿児島)
5. 赤崎安昭, うつ状態およびうつ病の人たちから得た教訓 - ストレスチェック制度および司法精神鑑定の経験を通して, 鹿児島県始良地区医師会春季医学会(日本医師会・鹿児島県医師会障害教育講座), 2016年5月(鹿児島)
6. 赤崎安昭, 司法精神鑑定とはなにか? - 臨床精神医学と司法精神医学の接点 -, ヤンセンファーマ株式会社学術研修会, 2016年6月(鹿児島)
7. 赤崎安昭, パーソナリティとパーソナリティ障害, 鹿児島産業保健総合支援センター産業保健研修会, 2016年6月(鹿児島)
8. 赤崎安昭, うつ病を知ろう - 事例提示も含めて -, 鹿児島産業保健総合支援センター産業保健研修会, 2016年8月(鹿児島)
9. 赤崎安昭, 事例検討ワークショップ - 殺人被疑事件・起訴前精神鑑定の事例, 日本精神神経学会・第6回司法精神医学研修会, 2016年9月(宮城)
10. 赤崎安昭, 柳田信彦, 井上和博, 放火に至った事例の診断および責任能力の検証, 第7回鹿児島司法精神鑑定人研究会, 2016年9月(鹿児島)
11. 赤崎安昭, 不安でたまらない人たち - 神経症性障害の事例を通して -, 鹿児島産業保健総合支援センター産業保健研修会, 2016年10月(鹿児島)
12. 赤崎安昭, 犯罪精神病理学 - 事例の検証も含めて -, 鹿児島県警察本部警察職員研修会, 2016年12月(鹿児島)
13. 赤崎安昭, うつ病者の復帰支援の実際, 鹿児島産業保健総合支援センター産業保健研修会, 2016年12月(鹿児島)
14. 池田由里子, リアルしごと人(高校生と働く大人の対話の時間) in 錦江湾高校, 2016年7月(鹿児島)
15. 井上和博, 子どもの「からだの発達」と「遊びの発達」, りぼんかんぴアサロン, 2016年3月(鹿児島)
16. 井上和博, 子どもの発達と遊び - 作業療法士の視点から -, 児童発達支援職員職場研修, 2016年5月(鹿児島)
17. 井上和博, 子どものからだの発達を促す関わり方について, ホームスタートビジター養成講座, 2016年7月(鹿児島)
18. 井上和博, 配慮の必要な子どもの理解と支援, ふじヶ丘保育園幼児保育相談事業, 2016年7月(鹿児島)

## 業績目録

19. 井上和博, 子どものからだの発達を促す関わり方について, 鹿児島市親子つどいの広場なかまっち, 2016年8月 (鹿児島)
20. 井上和博, 配慮の必要な子どもの理解と支援, くすのこ保育園幼児保育相談事業, 2016年8月 (鹿児島)
21. 井上和博, 子どもの気になる行動や生活動作の理解と対応～作業療法士の視点から～, 鹿児島市保育所職員研修会講話, 2016年8月 (鹿児島)
22. 井上和博, 気になる子どもの理解と対応～作業療法士の視点から～, 鹿児島市保育園協会職員職場研修, 2016年10月 (鹿児島)
23. 井上和博, 発達障害領域の基礎知識と作業療法の課題と展望, 日本作業療法士会現職者選択研修, 2016年10月 (鹿児島)
24. 井上和博, 子どもの生活動作～作業療法士の視点から～, 家庭訪問型子育て支援「ホームスタート」事業スキルアップ講座, 2016年11月 (鹿児島)
25. 井上和博, 配慮の必要な子どもの理解と支援, 幼児保育相談事業, 2016年12月 (鹿児島)
26. 窪田正大, 認知症予防のためのリハビリテーション - 日常生活での工夫 -, 平成27年度鹿児島市中洲校区社会福祉協議会テーマ別研修会, 2016年2月 (鹿児島市)
27. 窪田正大, 認知リハビリテーション - 臨床の中で注意・注意障害をどのように捉えるか -, 肝属地域リハビリテーション広域支援センター研修会, 2016年3月 (鹿屋市)
28. 窪田正大, 日々の臨床から研究をはじめよう - 研究テーマ決定から研究計画書作成まで -, 平成28年度鹿児島県作業療法士会学術部研究支援事業, 2016年6月 (鹿児島市)
29. 窪田正大, 脳卒中と認知リハビリテーション, 熊本県立天草高等学校出前講義, 2016年8月 (天草市)
30. 田平隆行, 軽度認知症に対する視覚と聴覚刺激による二重課題法を用いた介入研究, 第10回日本作業療法研究学会学術大会, 2016年5月 (新潟)
31. 田平隆行, 認知症介護予防事業の実践と成果, 第50回日本作業療法学会モーニングセミナー, 2016年9月 (札幌)
32. 柳田信彦, 模擬裁判 (志学館大学法学部合同) - 統合失調症者の責任能力について, 第8回鹿児島司法精神医学研究会, 2016年2月 (鹿児島市)
33. 築瀬 誠, 作業療法学, 平成28年度宮崎県立小林高等学校出前講義, 2016年6月 (小林市)
34. 築瀬 誠, 研究発表までのプロセス～研究デザインを知る～, 平成28年度鹿児島県作業療法士会研究法研修会, 2016年7月 (鹿児島市)
35. 築瀬 誠, 作業療法学, 平成28年度鳳凰高等学校模擬講義ガイダンス, 2016年8月 (南さつま市)
36. 築瀬 誠, 当事者の「よい状態」はどのように得られるか, 平成28年度 NPO 法人かれん鹿児島 9 月交流会, 2016年9月 (鹿児島市)
37. 吉満孝二, 障害の受容について, 社会福祉法人常磐会法人研修会, 2016年3月 (鹿児島市)
38. 吉満孝二, 福祉機器と作業療法, 中種子高校出前講義, 2016年7月 (鹿児島県中種子町)
39. 吉満孝二, リハビリにおけるアクティビティ, 社会福祉法人常磐会法人研修会, 2016年12月 (鹿児島市)